

知的資産経営の概要

平成30年2月5日

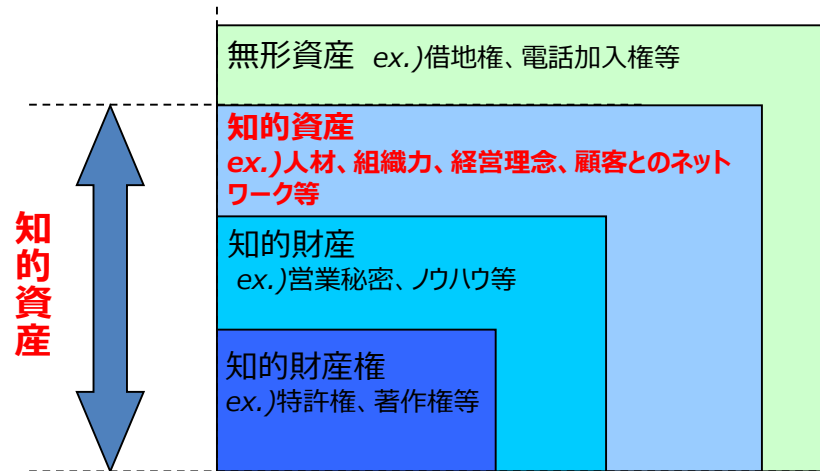
経済産業省 知的財産政策室

「知的資産」とは

「従来のバランスシート上に記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉。

人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、「財務諸表に表れてこない目に見えにくい経営資源の総称」。

【知的財産と知的資産の関係のイメージ図】



知的資産経営においては、狭義の知的財産と区別するために、「知的資産」という概念を「知的財産」と同義ではなく、それらの一部を含みさらに組織力、人材、顧客とのネットワークなど企業の「強みとなる、目に見えにくい経営資源を総称したものと幅広く捉えている。

「知的資産経営」とは

自社の強み（知的資産）を把握し、それを活用することで業績の向上に結び付ける経営 のこと

STEP 1 : 自社の内部・外部環境における自社の強み・弱み分析（SWOT分析等）

STEP 2 : 自社の今後の戦略を描く

STEP 3 : 過去～現在までの状況を元に、将来の目標設定を行う（KPI, KGI）

作成プロセス

見える化

「知的資産経営報告書」
「知的資産経営レポート」

開示

ステークホルダーとの
コミュニケーションツールに活用
(従業員、取引先、金融機関、入社希望者等)



他者のサポートを受けて作成することが多い
① 専門家（弁理士、中小企業診断士等）の支援がある場合
② 金融機関の支援がある場合 等

経営者や従業員が
主体的にSTEP1～3を行う
プロセスが重要

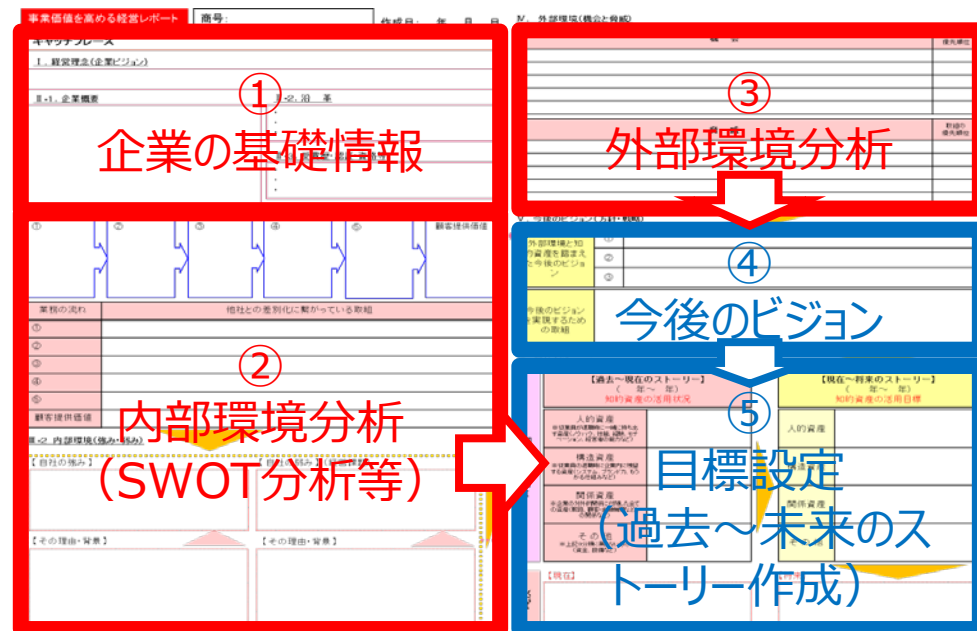
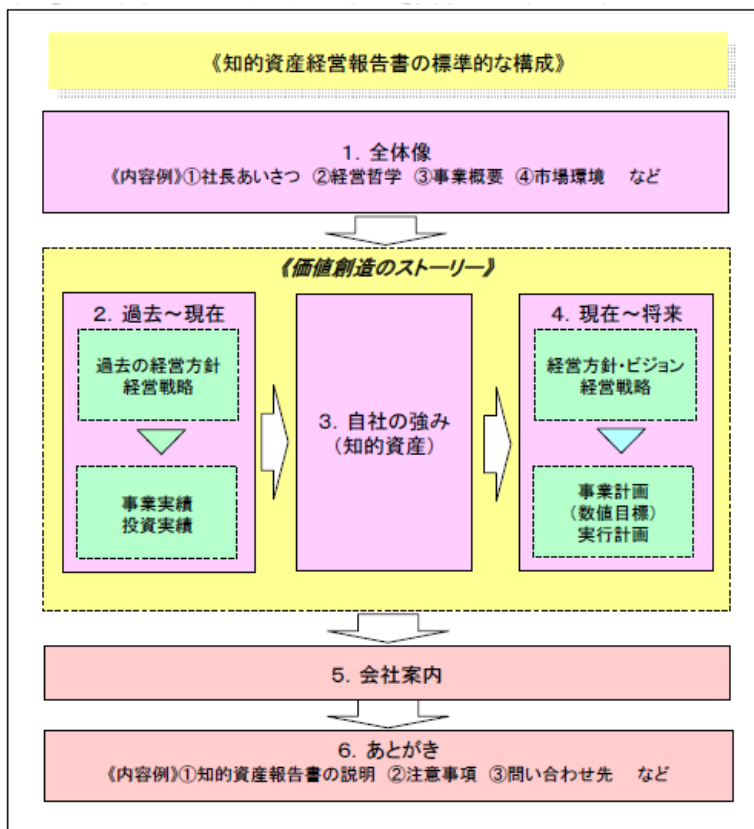
知的資産経営の実践
(今後の戦略を実現するための取組を実行)

知的資産経営の支援ツール

①「知的資産経営報告書」



②「事業価値を高める経営レポート」



- ①取引先等の信頼度が向上し、営業の促進につながる。
- ②非財務情報が見える化されるため、資金調達面で有利になる。
- ③企業価値が明確になり、従業員の士気向上につながる。
- ④事業承継（経営そのものの承継）にも役立つ。

すでに知的資産経営に取り組んでいる金融機関等の例

京都府

- 【取り組み】
- ・「知恵の経営」実践モデル企業認証制度
 - ・「知恵の経営」推進融資

但陽信用金庫（兵庫）

- 【取り組み】
- ・企業向け知的資産経営啓発セミナーの実施
 - ・事業価値を高める経営レポートの作成支援
 - ・知的資産経営報告書の作成支援
 - ・知的資産経営報告書作成企業による発表会

にいがた産業創造機構

- 【取り組み】
- ・企業向け知的資産経営セミナーの実施
 - ・事業価値を高める経営レポートの作成支援

飯能信用金庫（埼玉）

- 【取り組み】
- ・企業向け知的資産経営セミナーの実施
 - ・事業価値を高める経営レポートの作成支援

呉信用金庫（広島）

- 【取り組み】（予定）
- ・企業向け知的資産経営セミナーの実施
 - ・事業価値を高める経営レポートの作成支援

水戸信用金庫（茨城）

- 【取り組み】
- ・知的資産経営報告書の作成支援
（中小企業支援ネットワーク事業を活用）

尼崎信用金庫（兵庫）

- 【取り組み】
- ・企業向け知的資産経営啓発セミナーの実施
 - ・事業価値を高める経営レポート作成支援
 - ・知的資産経営報告書の作成支援

但馬銀行（兵庫）

- 【取り組み】
- ・企業向け知的資産経営啓発セミナーの実施
 - ・知的資産経営報告書の作成支援
 - ・支店長向けセミナーや行員向けセミナーの開催



※上記のほか、同様の事業実施に関心を有する金融機関が複数存在。

その他、金融機関による支援業務を実施するツールとして「知的資産経営」を用いる金融機関も存在。

※西武信用金庫や大阪市信用金庫では、金融機関によるビジネスマッチングのツールとして、顧客企業の非財務情報の組織的把握を実施

※広島銀行では顧客向けコンサル業務として、外部環境を含む非財務情報の把握を実施。